

合同企業等見学会 in むつ **第4弾**

報告書

～新しい魅力との出会い～



青森中央学院大学 COC+事業推進事務局

プラス COC + 事業について

COC (Center Of Community ~地域の拠点、地域を地に置き換えて地(知)の拠点という言い方をしています) ^{プラス} 事業とは、オール青森で取り組む「地域創生人財」育成・定着事業のことです。

1 事業の目的

青森県の最大の課題である「人口減少克服」のために、青森県内の大学・短大・高等専門学校計 10 校と、青森県、青森市・弘前市・八戸市・むつ市の 4 市、100 を超える県内企業・団体・NPO などによる「オール青森」ネットワークを形成し、「地域創生人財」の育成と、学生の青森県内への就職や起業支援、雇用創出に一丸となって取り組み、平成 31 年度までに、学生の青森県内への就職率を平成 26 年度から 10%向上させることを目標にしています。

2 事業の内容

青森県内での就職・起業を支援します。アドバイザーによる起業支援、地元企業の若者ネットワークづくり、就職後のキャリアアップ支援、学生企画による企業調査、就職説明会などを行います。

地元企業・地域共育型インターンシップ、女子学生のキャリア支援プログラム、学生発起業実行プログラムにより、青森県の未来を担う人財を育成します。

青森県の強みであるアグリ、ライフ、グリーン、ツーリズムの 4 分野において、大学発新産業で雇用創出を目指します。

目 次

	ページ
はじめに.....	1
I 合同企業等見学会 in むつ実施要項.....	4
II 見学会の様子.....	10
III 学生と企業関係者等との交流会.....	16
IV 参加学生の感想文.....	24
V アンケート集計.....	32
あとがき.....	39

はじめに

「合同企業等見学会 in むつ」は、平成 28 年度から始めて今回で 4 回目となります。この事業の目的は、県内の学生に対してむつ下北地域の企業等の実情をよく知ってもらい、就職やインターンシップの選択肢の一つとしてもらおうということにあります。ご承知のとおり、むつ下北地域には、大学等の高等教育機関がありませんが、学生がいないのなら県内の学生に来てもらって、むつ下北地域の働き方、暮らしをみてもらおう、というのがこの事業の趣旨です。4 回目となる今年度は弘前大学から 5 名、青森中央学院大学から 6 名（全員外国人留学生）の合計 11 名の学生が参加しました。

この見学会は、むつブロックの坂本コーディネーターがむつ下北地域の企業等まわりをして、従業員数がある程度の規模であることや過去に大学生を採用あるいは今後採用予定があること、職種が偏らないことなどを考慮して見学会の受入れ企業等を確保することから始まります。今年度は、小売、整備、建設、観光の各業種の企業のほか、社会福祉法人など多種多様な企業等を訪問しましたが、建設関係では、現在、むつ市が利用者の目線に徹して建設を進めている「むつ市総合アリーナ建設現場」を見学しました。普段、見ることができない建設現場の見学は、学生にとって大いに刺激になったようでした。

4 回目となった企業等見学会で感じたことは、年々、企業のプレゼンテーション力が高まっていることです。「会社の目指していることは何か」「どんな人材を求めているか」「給与をはじめ待遇はどうか」など、ストレートに学生の心に訴えかけているのが印象に残りました。受入れてくれた企業等の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、昨年度に引き継ぎ、今年度も「学生と企業関係者等との交流会」を開催しました。この交流会は普段あまり接することのない学生と企業関係者が直接集い、「学生と共に自社の特徴を整理してみよう」をテーマに、ワークショップ形式で本気と本音の交流会を行ったものであります。学生にとっては企業関係者と直接意見交換することができて、貴重な経験になったと聞いています。

さて、「継続は力なり」という言葉があります。COC+事業は今年度で終了しますが、この見学会に参加した学生にとっては、進路を考える上で役立つものと思われれます。また、むつ下北地域の企業等にとっても、自社の発展を考える上で大きな刺激になったのではないのでしょうか。

今後とも、県内大学生とむつ下北地域の企業等との出会いの場が、なんらかの形で継続していければと思っています。

青森 COC+推進機構

青森ブロック・コーディネーター

佐藤 仁

